

第26号

## すだち

発行：  
高次脳機能障がい  
徳島家族会「すだち」  
住所：  
徳島市新浜町3丁目  
(岩垣方)1-60  
電話：088-662-4776

## 全国(高知)大会に向けて 南天九猿製作・フリーマーケット活動

家族会では、10月の全国大会(高知大会)に向けて、当事者・家族で今「南天・九猿」の置物の製作に励んでいます。

10月8日に開かれる日本脳外傷友の会全国大会会場(高知)で、徳島の家族会の活動紹介の武器として、「南天・九猿」の置物の製作に当事者・家族でとりくんでいます。

会員の空き家となっていた居宅に製作に必要な材料を準備し、これまでに2日の共同制作日を設定し作業をおこなってきました。

製作目標は、全国大会出席人員が例年どおりと想定し、300体を、またリハビリテーション講習会等今秋の徳島での催し会場での出品にも活用するとして、500体の製作に向けて励んでいます。共同での製作時間は限られていますので、



各自持ち帰り自宅で、猿本体の製作、南天木を利用した台の製作等自分にあった作業を行い目標の500体の完成に向けて取り組んでいます。

### 毎月フリーマーケットに出店

#### 「南天・九猿」を中心に不用品の販売

家族会では、毎月1回徳島市ふれあい健康館ロビーでのフリーマーケットに出店し、「南天・九猿」を中心に切絵、ネックレス等当事者が作った小物また家族会会員家庭で不用となった品物の提供を受けて販売活動をおこなっています。会場では、高次脳機能障がいの「ピラ」を準備し来店者に手渡し活動への協力と障がいに対する理解を呼びかけています。

当事者・家族の手作り作品、家庭での不用品等フリーマーケットへの出品にご協力ください。

## お知らせ

高次脳機能障がいリハビリテーション講習会 (日本損害保険協会助成事業)

日時 平成28年10月22日(土) 13:30~16:00時  
場所 徳島大学蔵本キャンパス 藤井節郎記念ホール  
内容 高次脳機能障がいリハビリテーション講習会  
下堂園恵氏 (鹿児島大学大学院医歯薬総合研究科リハビリテーション医学教授)  
武久美奈子氏 (たけひさ医院院長精神科医)  
主催 徳島高次脳機能障がいリハビリテーション講習会実行委員会

事務局：『すだち』高次脳機能障がい徳島家族会

## 家族会要望事項まとまる

### 県当局と県下全ての市町村に要望書提出へ

家族会では、行政に対する要望案件の調査を行ってきました。この都度そうした要望案件を整理し、会員からの意見集約を行い事務局でまとめ(下記案件)、徳島県知事をはじめ県下全ての市町村長に要望書の提出と懇談の申し入れを7月22日から市町村長への訪問活動を行ってきました。各市町村長との懇談は8月～9月中めどに行う予定です。

要望事項はつぎの内容です。

#### 要 望 事 項

- 一、障がい者手帳は現在の3区分化(身体障がい、精神障がい、療育手帳)を一本化することを要望します。
  - 1)障がい者手帳発給の一本化が創設されるまで、高次脳機能障がい者に対して脳障がい者手帳の新設を要望します。
  - 2)高次脳機能障がいの障がい認定基準を策定し、障がいに見合った年金(助成)制度を要望します。
  - 3)高次脳機能障がい者に対する生活援助(障がい年金)の充実を要望します。
- 二、高次脳機能障がい者への支援をどのように行っているかを明らかにし、合わせて、今後の支援対策を明らかにして頂きたい。
  - 1)現行の障がい者支援事業において、高次脳機能障がい者が利用可能な支援事業の具体的な内容説明をお願いします。
  - 2)具体的には、高次脳機能障がい介護の実態に見合った支援、助成(減免、公共料金、就学、住宅、介護用品、通行料金、)の大幅な改善を要望します。
  - 3)高次脳機能障がい者を対象とした公的な就労訓練場所を整備して、社会復帰 対策の充実を要望します。
  - 4)高次脳機能障がい者が経済的に自立できる就労場所の確保を要望します。高次脳機能障がい者の自立援助支援として(習字、絵画、写真、料理、写経、パソコン等)できる施設指導者の配置を要望します。
- 三、4月に施行された障がい者差別解消法の理念に基づき、率先して差別の解消を推進することを要望します。
  - 1)高次脳機能障がい者を抱える家族の所得に関係なく、障害の実態にあった支援を要望します。
  - 2)高次脳機能障がい者のショウスティの受け入れ態勢の充実を要望します。
  - 3)高次脳機能障がい者に対する災害等緊急時の連絡手段として、 아이폰、アイパット等通信手段に対する援助を要望します。
  - 4)高次脳機能障がい者を中心に障がい者雇用優良事業所、優秀就労障がい者の表彰と合わせて、積極的に障がい者の就労支援、援助等差別の解消に努めている個人・団体に対してその功績を認める手立てを講じることを要望します。
- 四、高次脳機能障がいの理解を深めるための事業策定を要望します。
  - 1)高次脳機能障がいの理解を深めるため、医療関係者、福祉担当者の講習会等 啓蒙を要望します。
  - 2)高次脳機能障がいに精通した専門職員の窓口配置を要望します。
  - 3)高次脳機能障がいのリーフレットの活用をより強めることを要望します。
  - 4)高次脳機能障がいの治療可能な医療施設の整備を要望します。
  - 5)高次脳機能障がいについて、医学的な研究を積極的に進めていくことを要望します。
  - 6)高次脳機能障がい者へのリハビリ(医療、就労)在宅指導を受けられることを要望します。

以 上

## 家族会要望と懇談の申し入れ活動

### 「高次脳機能障がい」が十分に理解を得られていない実態

家族会は、高次脳機能障がい者を抱える家族が、その情報交換の場として結成し、当事者・家族の交流の場として活動し、徳島大学病院を中心に、多くの協力を得ながら医療講習会を行う等、高次脳機能障がいの理解を得る取り組みを実施、当事者・家族の悩んでいること、思っていることを、毎月の交流の場で話し合ってきました。今期はそうした活動を一般に広めようと、要望書にまとめ徳島県知事を始めとして、県下全ての市町村長に要望書の提出とあわせて家族会との懇談の申し入れを行っています。

7月下旬から8月上旬に、要望書の提出及び懇談の申し入れを行い懇談日は、8月から9月の日程設定を依頼、早々に懇談日を設定していただき、すでに松茂町、小松島市、牟岐町においては要望書に基づき懇談が実施されています。また大半の市町村との懇談日も確定しており、お盆「阿波踊り」明けから連日で懇談日が入っています。

これまで実施した市町では、懇談と云うことで、要望書に係る具体的なお答えを得ることは出来ませんでした。家族会の思いを伝えることは出来たものと思っています。

まだまだ「高次脳機能障がい」と云う「障がい」の理解を求めた家族会の取り組みを、強めていくことが重要だと思っています。各市町村長との懇談日時については、ホームページに掲載していますが詳細については事務局にお問い合わせをお願いします。

### 「障がいのある人もない人も暮らしやすい徳島づくり条例」

すべての県民が障がいの有無にかかわらず、お互いに人格や個性を尊重しあいながら、地域で安心して暮らせることのできる社会(共生社会)の実現を目指すとして、制定されました。

<主な内容>

#### 1、障害のある人の権利擁護

- ①障がいのある人に対する差別等の禁止、社会的障壁をなくすための合理的な配慮
- ②差別等に関する相談体制や助言・あっせんの仕組み。
- ③相談窓口による解決
- ④調整委員会による助言・斡旋による解決。

#### 2、地域社会において障がいのある人が自立や社会参加をしやすくするための取り組み

- ①情報の取得やコミュニケーションに対する支援
  - ・情報の取得や意思疎通ができる必要な支援
  - ・県政に対する情報の提供
  - ・障害の特性に応じた情報提供を行うに必要な施策。
  - ・手話の利用が広まるような施策。
  - ・意思疎通を支援する人たちの養成や技術の向上、派遣。

#### ②障害のある人の移動に対する支援

- ・障がい者補助犬の理解を深める啓発
- ・歩行、通行の安全確保に配慮
- ・歩行、通行の安全確保のため車両接近通報装置、警告装置の使用

#### ③障害のある人の自立や社会参加

- ・特性に応じたスポーツ振興の必要な施策。
- ・障害者スポーツの競技水準の向上。

#### 3、県民理解の促進

- ・スポーツ活動や文化芸術活動を通じて障がいのある人ない人が交流することができる機会を積極的に提供し、その相互の理解を深める。
- ・民間の団体など、障がいについて理解を深める活動をしやすくするため、情報の提供や助言などを行う。
- ・優れた功績があると認められる障がいのある人に対して、表彰などを行う。



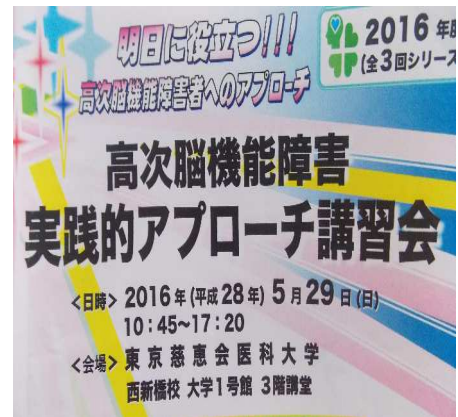
## 高次脳機能障がい 実践的アプローチ講習会受講

2016年の東京高次脳機能障がい協会(TKK)主催の高次脳機能障がい実践的アプローチ講習会の第一回講習会が5月29日、東京慈恵会医科大学(西新橋校)で開かれ、全国から200名余り受講しました。徳島もすだち会員1名が受講しました。

今年のアプローチ講習会は、5月、9月、12月の3期日での開催が決定されており、今回は、第1回目として4講座が開かれました。

第1講座は、「高次脳機能障がいの回復を考える。～地域ケアを通じて～」と題して長谷川幹氏(三軒茶屋リハビリテーションクリニック院長)の講義が行われました。第2講座では、「高次脳機能障がい者の家族支援。～事例を通じて～」と題して山口加代子氏(横浜市総合リハビリテーションセンター・臨床心理士)第3講座は、「高次脳機能障がい者への生活支援。～グループホーム立ち上げの経験から～」と題して、山河正裕氏(社会福祉法人豊中きらら福祉会・羅針盤・施設長)の講演が、第4講座は「高次脳機能障がいのある方を守る地域の包括的支援づくり」と題して、勝部麗子氏(豊中市社会福祉協議会/事務参事兼地域福祉課長)の講義がありました。

今回の講座は、家族に対する支援・地域での支援のあり方について話を聞くことが出来ました。



## 全国大会(脳外傷友の会)参加の呼びかけ

今年10月8日(7日交流会)に高知で開催される、第16回脳外傷友の会全国大会参加に向けて、「すだち」も四国で開催されることから全員の参加を目標に取り組みを行っているところです。

特に、徳島での活動を全国の仲間に伝える活動の準備、大会傍聴と合わせ、前夜の交流会への参加、等準備を急いでいます。すでに、大会参加行程を各人にお知らせしていますが、1泊2日の日程で組み準備を進めているところです。

### —記—

大会日程：10月7日(金)18時から・懇親交流集会(前夜祭)

10月8日(土)9時から・・・大会開催

大会会場：高知市文化プラザ(かるぽーと)高知市九反田2-1

第1日目 10月7日(金)

午前9時徳島県立障がい者プラザをバスで出発、

高知昼食後市内観光・・・交流会

(ザクラウンパレス新阪急高知)

第2日目 10月8日(土)

午前9時大会参加・・・終了後帰路・・・18時徳島県立障がい者プラザ着

詳細は事務局にお問い合わせください(088-662-4776 岩垣)

